

常任委員会審査状況

9月定例会に上程された議案を各委員会に付託して審査を行いました。

それぞれの委員会が審査した議案は、総務委員会3件、地域福祉委員会3件、産業建設委員会5件、予算決算委員会11件です。なお、議案第41号 平成28年度鈴鹿市一般会計補正予算（第1号）と議案第55号平成27年度鈴鹿市一般会計決算の認定については、それぞれの分科会で関連部分を審査しました。

各委員会、分科会の審査状況の一部は次のとおりです。

総務委員会

鈴鹿市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の制定（議案第44号）

（質問） 派遣予定の職員数、派遣を行う際の市職員としての身分は。

（答弁） 平成29年度から三重県農業共済組合に

3名、平成30年度に1名派遣する予定である。これは、市職員としての身分を有したまま派遣を行うものである。

地域福祉委員会

鈴鹿市立幼稚園条例の一部改正（議案第47号）

（質問） 長太幼稚園と箕田幼稚園、両園の現在の園児数は何人か。

また、今後の幼稚園の統廃合計画の内容と統廃合を考える目安となる園児数は。

（答弁） 平成28年度の両園の園児数は、長太幼稚園が10人、箕田幼稚園が13人である。

今後の幼稚園の統廃合計画は、現在休園中の河曲幼稚園を平成30年度に廃園し、神戸幼稚園と統合することで、最終的に13園を残す形を考えている。園児を募集した際に15人を下回る場合、直ちに廃園にするのではなく、まず休園することを検討する。

産業建設委員会

財産の取得（高圧水電解式パッケージ型水素ステーション「SHS」の取得）（議案第63号）

（質問） 水素ステーションの耐用年数、維持管理費、安全面は。

（答弁） 耐用年数はおおむね10年となっている。

維持管理費は、定期点検費用として毎年約300万円、さらに3年ごとに、水素発生設備の詳細な点検、重要部品の交換など約600万円の費用がかかるが、これは「SHS」自体が最新の技術を取り入れていることから、短期間に多くの部

品交換が必要となることによる。

また、水道代として月額約2,000円かかり、電気代については、その一部を太陽光発電による電力で賄う。

安全面については、本体はインターネットシステムを介して常時管理し、燃料電池自動車への水素の充填は、研修を受講した者に限定し、消火設備も備えている。